

第3次草津市食育推進計画 評価シート

※ 達成度が算出できない項目については、『-』で表記する。  
 ※ 「滋賀の健康・栄養マップ調査(令和4年度)」食物摂取状況調査による栄養素等摂取量については、前回と異なる方法で実施されていることから比較には留意が必要。

No.	数値目標項目	単位	担当課	策定時 (平成27年度)	目標値 (令和5年度)	現状値	算出現状値の年 度(時点)	目標達成度 (%)	目標達成の状況と課題	今後の取組の方向性	数値目標項目の 出典	
1 くらし	① 食育に関心がある人の割合	%	健康増進課	60.0	90.0	52.4	令和4年度	58.2	食育に関心のある人は減少している。 【課題】多くの市民に対し、食育の必要性を周知啓発していくことが必要である。	様々な機会を通して、食育の重要性の周知が必要。小・中・高校生等、子どもの頃から食育に関心が持てるよう学ぶ機会の創出を促進する。	「滋賀の健康・栄養マップ」	
	② 一人で食事をする人の割合	朝食 12～14歳	%	健康増進課	16.3	減少	16.3	令和4年度	100	健康くさつ21(第2次) 評価シートと同内容		「滋賀の健康・栄養マップ」
		朝食 15～19歳	%	健康増進課	31.6	減少	32.1	令和4年度	98.5			
		夕食 12～14歳	%	健康増進課	2.3	0.0	0	令和4年度	100			
		夕食 15～19歳	%	健康増進課	1.8	減少	1.9	令和4年度	95.4			
2 こころ	① 朝食を欠食する人の割合	小5	%	学校教育課	3.9 (H28)	0.0	3.5	令和4年6月	—(策定時より減少)			
		中2	%	学校教育課	6.2 (H28)	0.0	6.9	令和4年6月	—(策定時より増加)			
		20歳代男性	%	健康増進課	21.9	8.0	9.1	令和4年度	88			
	② バランスのとれた食事に気をつけている人の割合	30歳代男性	%	健康増進課	21.8	8.0	17.4	令和4年度	46			
		20歳代男性	%	健康増進課	18.8	36.0	72.7	令和4年度	202			
		20歳代女性	%	健康増進課	29.8	64.0	69.6	令和4年度	108.7			
		30歳代男性	%	健康増進課	25.5	44.0	61.3	令和4年度	139.3			
		30歳代女性	%	健康増進課	51.4	67.0	82.4	令和4年度	122.9			
		40歳代男性	%	健康増進課	21.9	52.0	75.9	令和4年度	145.9			
		40歳代女性	%	健康増進課	72.3	97.0	80.3	令和4年度	82.7			
③ 食生活上、かむことに満足している人の割合	60歳	%	健康増進課	61.1 (H28)	65.0	75.0	令和4年度	115.4	草津市健康増進課事業年報			
④ 肥満者の割合	男性 20～69歳	%	健康増進課	27.4	17.0	28.6	令和4年度	59.5				
	女性 40～69歳	%	健康増進課	14.4	11.0	17.2	令和4年度	63.8				
⑤ やせの人の割合	女性 15～19歳	%	健康増進課	35.5	10.0	36.6	令和4年度	27.3				
	女性 20～29歳	%	健康増進課	23.4	19.0	17.4	令和4年度	109.3				
⑥ 総エネルギー量に対する脂質のエネルギー比率	男性 20～29歳	%	健康増進課	34.9	20～30	25.5	令和4年度	100	男性では目標を達成しているが、女性では目標値に比べ若干高くなっている。 【課題】女性に対する施策の強化・促進が重要である。	ライフステージごとの現状を把握するとともに、それぞれに応じた施策の推進が必要。	「滋賀の健康・栄養マップ」	
	女性 20～29歳	%	健康増進課	32.3	20～30	31.3	令和4年度	95.8				
	男性 30～59歳	%	健康増進課	28.8	20～30	28.5	令和4年度	100				
	女性 30～59歳	%	健康増進課	29.9	20～30	30.6	令和4年度	98				
⑦ 野菜の平均摂取量	20歳以上	g/日	健康増進課	270.2	350.0	244.8	令和4年度	70	健康くさつ21(第2次) 評価シートと同内容			
⑧ 食塩の平均摂取量	20歳以上	g/日	健康増進課	9.6	8.0	10.6	令和4年度	75.5				
⑨ 果物の摂取量が100g未満の者の割合	20歳以上	%	健康増進課	67.1	34.0	56.6	令和4年度	60.1				
⑩ 健康推進員の数		人	健康増進課	180 (H28)	205	174	令和4年度	84.9				
⑪ 健康推進員による食育に特化した地域食育推進事業の参加者数		人	健康増進課	3,565 (H28)	増加	3,905	令和4年度	109.5	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた年もあったが、チラシやティッシュ等啓発媒体を使用し、多くの市民に食育について啓発ができた。 【課題】市民の理解度が測れないため、把握する方法を検討する必要がある。	引き続き、食育に関する啓発内容を市民に周知できるよう健康推進員を支援していく。	草津市健康増進課事業年報	
3 つなぐ	① 学校給食における地場産物を使用する割合(食材数ベース)	%	学校給食センター	49.2 (H28)	40.0以上	30.3	令和4年度	75.8	給食物資の見積方法を工夫するなど、地場産物の入札に努めているが、結果として納品することができておらず、地産地消率は年々下降傾向にある。 【課題】食材の安定的な確保が最重要の課題であり、米以外の地場産物については拡大に限界がある。	市場調査や献立において工夫を行いながら、引き続き地場産物の使用を積極的に進める。	「学校給食における地場産物活用状況調査」	
	② 地場産物を購入しよう心がけている人の割合	%	農林水産課	50.6	70.0	44.4	令和3年度	63.4	草津市産農産物の利用拡大の取り組みを行ったが、策定時より割合が減っていることから、地場産物購入の意識付けが足りなかった。 【課題】地場産物購入の重要性の周知方法等を検討する必要がある。	地産地消の重要性の周知や、草津市産農産物の認知度向上により、草津市産農産物利用の意識醸成を図る。	「草津市のまちづくり」についての市民意識調査	
	③ 栄養成分表示を参考にしている人の割合	男性	%	健康増進課	32.9	増加	26.5	令和4年度	80.5	女性では増加しているが、男性では減少している。 【課題】栄養成分表示に関する内容や見方等の周知を図り、利用を促進していくことが必要である。	様々な機会を通して、栄養成分表示の見方や利用方法を周知啓発が必要。	「滋賀の健康・栄養マップ」
		女性	%	健康増進課	50.3	増加	53.1	令和4年度	105.6			
	④ 外食栄養成分表示をしている店舗数		店舗	健康増進課	3 (H28)	増加	10	令和4年度	333.3	健康くさつ21(第2次) 評価シートと同内容		「外食栄養成分表示推進事業」(草津保健所)、「しがの健康づくりサポーター」登録一覧(草津市)
⑤ 学校給食の残渣率(1人あたり)		%	学校給食センター	9.7 (H28)	減少	12.9	令和4年度	75.2	給食残渣は、献立により差があるものの、小学校に共通して、主食のごはん、和え物や炒め物等の野菜が中心となる副菜の残渣率が高いのが現状である。 【課題】令和4年度に全校の児童へアンケート調査を行った結果、残渣の原因について、嫌いなものが多い、量が多い、給食時間が短い等の意見が多数あった。	アンケート調査の結果を踏まえ、栄養価を確保しつつ、献立や味付けの工夫に取り組み、併せて学校との連携による残渣削減に努める。	学校給食センター事業実績	